

# ハイバックガード洗面器 (Y)L-A955系、(Y)L-A951系

商品の機能が100%発揮されるよう、本説明書の内容を十分ご理解のうえ正しく施工してください。なお施工完了後、この施工説明書をお客さまにお渡しください。

## ●安全上のご注意

- 施工前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
- ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 施工完了後、取扱説明書に沿ってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
- この施工説明書は、取扱説明書と共にお客様で保管いただくように依頼してください。



メーカー管理用です。

自動水栓サーモスタット付の場合	○	○	○	○	○	○	○	○	○
自動単水栓の場合	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ハンドル水栓の場合	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○：施工対象、－：施工不要

### 用語および記号の説明

- 警告**…「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。」  
**注意**…「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが生ずる危険な状態が生じることが想定されます。」
- ⚠…「注意しない!」(上記の「注意」と併用して注意を促す記号です。必ずお読みになり、注意事項をお守り下さい。)  
 ⓧ…「してはけません!」(一般的な禁止記号です。)  
 ⓧ…「分解してはけません!」  
 ⚠…「指示通りしない!」(一般的な行動指示記号です。)

## 警告

<p><b>[AC100Vタイプの場合]</b>                  ガタついているコンセントは使用しないでください。                  ※火災や感電の原因となります。</p> <p><b>[AC100Vタイプの場合]</b>                  交流100V(50/60Hz)以外では使用しないでください。                  ※発火、ショート、感電の原因となります。</p> <p>電源プラグや機能部に水をかけないでください。                  ※電気製品ですので、火災、感電の原因となります。</p> <p><b>[AC100Vタイプの場合]</b>                  電源プラグを濡れた手で触れないでください。                  ※感電の原因となります。</p> <p><b>[AC100Vタイプの場合]</b>                  電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントへの差し込みがゆるいときは使用しないでください。                  ※発火、ショート、感電の原因となります。</p> <p><b>[AC100Vタイプの場合]</b>                  電源コードを傷ついたり、破損させたり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたり、重い物を載せたり、挟み込んだりしないでください。                  ※電源コードが破損し、発火、ショート、感電の原因となります。</p> <p><b>[AC100Vタイプの場合]</b>                  タコ足配線はしないでください。                  ※発火の原因となります。</p> <p><b>[アークエナジータイプの場合]</b>                  アルカリ乾電池を充電しないでください。                  ※漏液、破裂、発火、発熱、機器の故障の原因となります。</p>	<p><b>[アークエナジータイプの場合]</b>                  アルカリ乾電池を水の中に入れてください。                  ※漏液、破裂、発火、発熱、機器の故障の原因となります。</p> <p><b>[アークエナジータイプの場合]</b>                  アルカリ乾電池を加熱したり、火の中に投げ入れないでください。                  ※漏液、破裂、発火、発熱、機器の故障の原因となります。</p> <p><b>[アークエナジータイプの場合]</b>                  アルカリ乾電池を強制放電しないでください。                  ※漏液、破裂、発火、発熱、機器の故障の原因となります。</p> <p><b>[アークエナジータイプの場合]</b>                  アルカリ乾電池以外の電池を使用しないでください。                  ※漏液、破裂、発火、発熱、機器の故障の原因となります。</p> <p><b>[サーモスタット付の場合]</b>                  給湯機器の温度設定は85℃以上で使用しないでください。                  ※水栓が破損し、ヤケドや家財を濡らす財産損害発生の恐れがあります。なお、誤作動などによるヤケド防止のため、60℃給湯をおすすめします。</p> <p>修理技術者以外の人は水栓を分解したり、修理したりしないでください。                  ※発火、感電したり、異常動作してケガをすることがあります。</p> <p><b>[アークエナジータイプの場合]</b>                  アルカリ乾電池を分解・加工・改造しないでください。                  ※漏液、破裂、発火、発熱、機器の故障の原因となります。</p> <p>バスルームなどの水がかかる所や、表面に水滴を生じやすいような湿気の多い場所では使用しないでください。                  ※発火、ショート、感電の原因となります。</p>	<p><b>[サーモスタット付の場合]</b>                  給水圧力は必ず給湯圧力以上にしてください。                  ※正常な温度調節ができなくなり、ヤケドをする恐れがあります。</p> <p><b>[AC100Vタイプの場合]</b>                  電源プラグについてはホコリは、取り除いてください。                  ※電源プラグにホコリがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因となります。電源プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。</p> <p><b>[AC100Vタイプの場合]</b>                  電源プラグをコンセントに差し込むときは、根元まで十分差し込んでください。                  ※発火、ショート、感電の原因となります。</p> <p><b>[アークエナジータイプの場合]</b>                  アルカリ乾電池を機器に使用するまでの間、または機器から取り外して保管するときなどは、風通しが良く乾燥した、あまり温度の上がらない場所に保管してください。                  ※温度が高いと乾電池に露(水分)がつき、ショートすることがあります。また、高温下に長い間放置されると性能が低下します。</p> <p>洗面器の固定は確実に行ってください。                  ※落下・転倒などによってケガをする恐れがあります。</p>
---	--	---

## 注意

<p>水道水および飲用可能な井戸水以外は使用しないでください。                  ※商品の内部腐食により、発火、ショート、感電の原因となります。</p> <p><b>[サーモスタット付の場合]</b>                  湯水を逆に配管しないでください。                  ※水を出そうとしても、湯が出てヤケドをする恐れがあります。</p> <p>トイレ用洗剤、住宅用洗剤、漂白剤、ベンジン、シンナー、トイレ用ウエットティッシュ、クレンザー、クレンザーを使用しないでください。                  ※発火、ショート、感電、故障の原因となります。</p> <p>汚れがついた手で洗面器の鉢面を触らないでください。                  ※防汚効果が低下し汚れが付きやすくなります。</p> <p>衝撃を与えたり、もたれかかったりしないでください。                  ※破損してケガをしたり、漏水や故障の原因となります。</p> <p>洗面器に硬いものを落とさないでください。                  ※洗面器が破損してケガをしたり、水漏れのため家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。</p>	<p>洗面器に熱湯を注がしないでください。                  ※洗面器が破損してケガをしたり、水漏れのため家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。</p> <p>洗面器にひびが入ったままで使用しないでください。                  ※洗面器が割れてケガをする恐れがあります。</p> <p>洗面器にひびが入ったり、割れた場合、破損部には素手で触らないでください。                  ※破損部でケガをする恐れがあります。</p> <p>給排水管の接続は確実に行ってください。                  ※漏水により家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。</p> <p>陶器は割れものです。                  ●施工前に輸送中の破損がないことを確かめてください。                  ●施工後に施工段階での破損がないことを確かめてください。                  ※破損部でケガをしたり、漏水により家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。</p>	<p>陶器に対するねじは締めすぎないようにしてください。                  ※陶器が割れてケガをする恐れがあります。</p> <p>オーバーフロー穴はありません。あふれ防止のため、吐水中はその場を離れないでください。                  ※漏水により家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。</p> <p><b>[サーモスタット付の場合]</b>                  目盛り通りの湯が出るよう、必ず温度調節を行ってください。                  ※使用条件によっては目盛り通りの湯が出ず、ヤケドをすることがあります。</p> <p>施工後に漏水検査と流量の調節を必ず行ってください。                  ※漏水により家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。</p> <p>お客さまに引き渡す前に凍結が予想される場合は水を抜いておいてください。                  ※凍結破損で漏水し、家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。</p>
--	--	---

## 仕様

電源	仕 様			
	自動水栓			ハンドル水栓
主電源	単水栓AC100Vタイプ	単水栓アークエナジータイプ	サーモスタット付AC100Vタイプ	
バックアップ	—	アルカリ乾電池 単3形×4本	—	アルカリ乾電池 単3形×4本
消費電力	待機時0.2W以下 使用時1.4W以下	—	待機時0.2W以下 使用時1.4W以下	—
使用圧力範囲	0.05(流動時)~0.75Mpa(静止時)		0.05(流動時)~0.75Mpa(静止時) 給水圧力<給湯圧力 (※1)	
使用可能水質	水道水および飲用可能な井戸水 (※2)			
使用環境温度範囲	0~40℃ (※3)			-20~40℃ (0℃以下は水を抜いた状態)
使用環境湿度範囲	90%RH以下			
吐出形態	泡沬			
適正流量範囲	2~3L/分 (2.5L/分定流量井内蔵)			
感知方式	距離測定式赤外線センサー			
感知距離	約130mm			
感知エリア幅	φ10mm以下			
給水接続 (給湯接続)	R1/2		PJ1/2	
排水接続	呼び径25mm			
水石けん	吐出形態	手動液状		
	タンク容量	約350mL		

- ※1 給湯圧力が給水圧力よりも高い場合、正常な調節ができなくなり、ヤケドをする恐れがあります。  
 ※2 飲用可能な井戸水とは、水道法に定められた飲料水の水準基準に適合する水をいう。  
 ※3 破損する恐れがありますので、凍結する可能性がある場所では使用しないでください。  
 ■ 上記の各数値は一定の条件下によるもので、使用環境条件等により異なる場合があります。

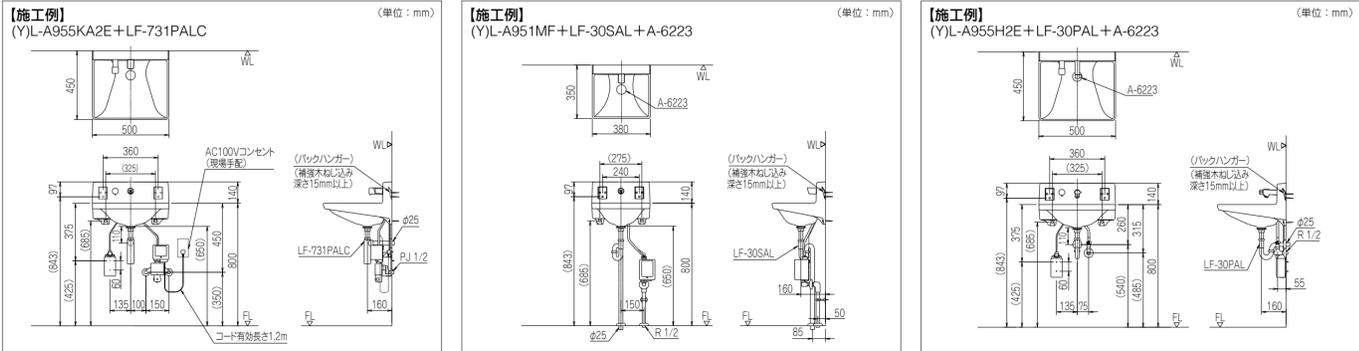
株式会社 LIXIL ●商品・施工方法についてのお問い合わせ  
 お客さま相談センターまで 受付時間 平日 9:00~18:00  
 土日 9:00~17:00  
**ナビダイヤル TEL 0570-017-173** (コールセンター、夏期、年末年始の休みは除く)

## ●施工上のご注意

- 給水圧力は仕様表をご確認ください。  
 給水圧力が0.75MPaを越える場合は、市販の減圧弁などで適正圧力(0.20MPa程度)に減圧してください。
- 排水金具の取付けにはシール材(市販品)が必要です。
- 商品を取り付ける前に必ず配管中の異物を完全に洗い流し、空気を完全に抜いてください。
- 万が一の危険防止のため、電源の一次側に1ヶ所漏電遮断器を設置してください。
- 電源線は消費電力を確認し、必ず適したものをご使用ください。(現場手配)
- 電源コードの長さは1.2mです。コンセントは電源コードの届く範囲で、床面より高く水のかからない位置に設置してください。
- 同梱の部品以外は使用しないでください。
- 梱包前に通水検査をしますので商品内に水が残っている可能性があります。商品には問題ありません。
- 開梱、取付けの際には商品の表面にキズを付けないように注意してください。しばらく使用しない場合は養生してください。
- 給水チューブの梱包袋は、機能本体部に接続するまで取り外さないでください。  
 ※袋を取り外すと、ホースクリップにより陶器が傷つく恐れがあります。
- 機能部は必ず正しい向きに取り付けてください。  
 ※横にしたり、逆さに取り付けますと誤作動の原因となります。
- 電気製品ですので機能部に水をかけないようにご注意ください。
- センサーの表面を傷つけないように十分ご注意ください。
- インバーター照明により誤作動する場合があります。
- 直射日光が当たらない場所に設置してください。
- 水道工事と電気工事は十分工程を打ち合わせのうえ行ってください。
- 電気工事は必ず電気工事に依頼してください。
- 自動水栓の泡沬口の取外工具は機能部の梱包箱に同梱されています。施工完了後取扱説明書と一緒にお客様に必ず渡してください。



## ●施工完成図 ※ ( ) 内寸法は洗面器あふれ線高さ800を基準にした参考寸法です。



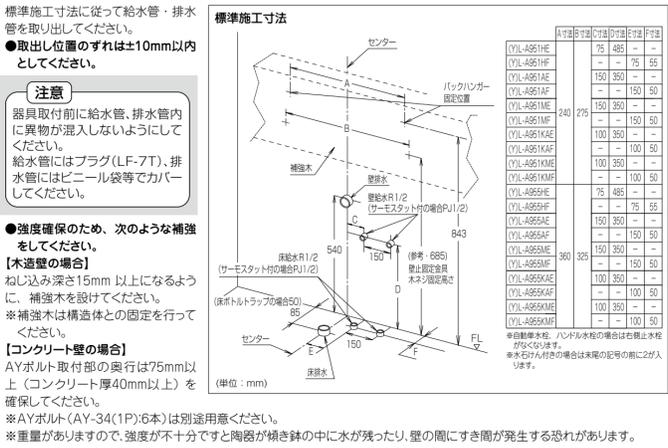
## ●部品の確認 (梱包内容をご確認ください)

品番	YL-A955KA2E	YL-A955KAE	YL-A955KA2F	YL-A955KAF	YL-A955A2E	YL-A955AE	YL-A955A2F	YL-A955AF	YL-A955H2E	YL-A955HE	YL-A955H2F	YL-A955HF
洗面器水栓	水石けん付の場合		水石けん無の場合		水石けん付の場合		水石けん無の場合		水石けん付の場合		水石けん無の場合	
止水栓機能部	[写真参照]		[写真参照]		[写真参照]		[写真参照]		[写真参照]		[写真参照]	
固定金具	バックハンガー		木ねじ		ワッシャー		木ねじ		ワッシャー		座金	
水石けんタンク	水石けん付の場合		水石けん無の場合		水石けん付の場合		水石けん無の場合		水石けん付の場合		水石けん無の場合	

※排水トラップ、排水口カバーは別途手配が必要です。アークエナジータイプの場合、機能部が異なります。

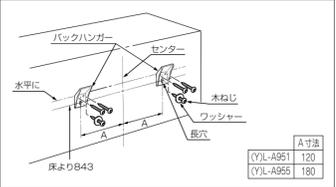
## ●施工方法

### 1.給排水の位置決め、取出し

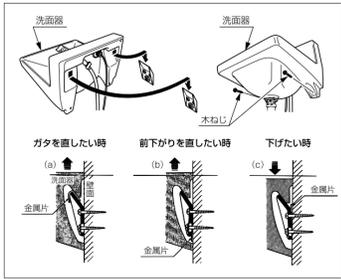


### 2.洗面器の取付け

- (1)右記の壁面の所定位置に左右のバックハンガーが各々横きのないよう、また、左右の高さが同一水平面にそろうよう正しく取り付けてください。  
 ※コンクリート壁の場合、AYボルト用下穴(φ11、深さ70mm)をあけてください。



- (2)洗面器をバックハンガーに仮取付けし、洗面器を押さえ、左右の横きやガタつき、前下がりを確かめます。  
 ●コードやチューブを壁との間にはさまないでください。  
 ※水石けんが吸い上げらなかつたり、水が吐水しなくなつたりします。  
 横き、ガタ、前下がりがある場合は、金属片の薄片を下がっている方、またはガタつく方のバックハンガーの上面(図a)に折り曲げて、また陶器の前下がりを直したいときはバックハンガーの下部(図b)に、下げたいときは上部(図c)に金属片をはさんで陶器が水平になるように調節してください。  
 ※調節が不十分ですと水が残ったり、陶器と前板の間にすき間が発生する恐れがあります。  
 (3)洗面器下部を木ねじで壁面に固定します。  
**【コンクリート壁の場合】**  
 AYボルト用下穴(φ11、深さ70mm)をあけてください。

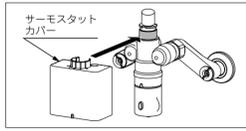


### 自動単水栓、およびハンドル水栓の場合は飛ばして、「4.排水金具の取付け」へ進んでください。

### 3.サーモスタットの取付け

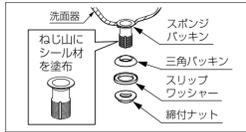
- [自動水栓サーモスタット付の場合]**  
 (1)サーモスタットカバーを外します。
- 
- (2)給水取り出し位置を確認し、取付け部を取り付けます。  
 ●ねじ部にシールテープ等のシール材を巻き付けてねじ込んでください。  
 ●キャップは機能部を接続するまで取り外さないでください。  
 ※キャップ内のOリングが傷つき、漏水の原因になります。
- 
- (3)取付け部にサーモスタットを取り付けます。  
 ●パッキンを必ず取り付けてください。  
 ※漏水の原因になります。  
 ●キャップは機能部を接続するまで取り外さないでください。  
 ※キャップ内のOリングが傷つき、漏水の原因になります。
-

(4)サーモスタットカバーを取り付けます。



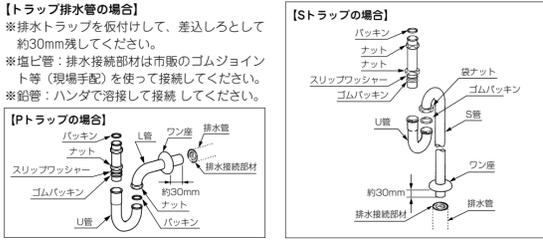
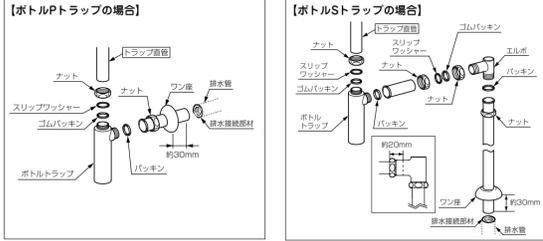
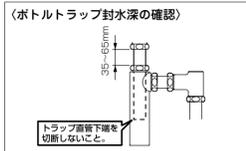
### 4.排水金具の取付け

排水口のツバパッキンには、スポンジパッキンを使用します。しかし、ぬし山をつたって漏水することが考えられますので、ぬし山のようにシールしてください。上部にスポンジパッキン、下部に三角パッキンをはめて締め付けてください。  
●締めすぎにならないよう注意してください。  
※排水金具が変形し、漏水の原因になります。



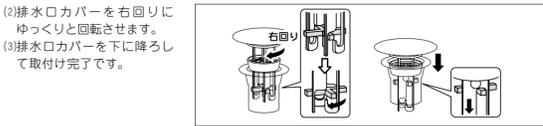
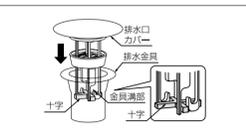
### 5.排水管の接続

排水管の接続を行います。  
【ボルトラップ排水管の場合】  
※排水トラップを仮付けて、差込みし約として約30mm残してください。  
※トラップ直管は絶対に切らないでください。  
※ボルトラップ封水深の確認を行ってください。  
※エルボとの差込みは約20mm確保してください。  
※塩ビ管：排水接続部材は市販のゴムジョイント等（現場手配）を使って接続してください。  
※鉛管：ハンダで溶接して接続してください。



### 6.排水口カバーの取付け

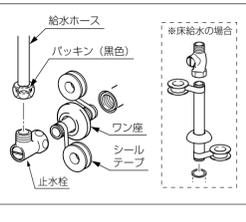
(1)排水口カバーの金具溝部を排水金具の十字の中へ挿入します。  
●ポイント  
排水口カバーに無理な力を加えないでください。外しにくくなり、外れなくなります。



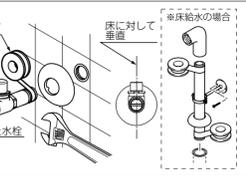
### 自動水栓サーモスタット付の場合は、「8.水栓機能部の取付け」へ進んでください。

### 7.止水栓の取付け

【ハンドル水栓の場合】  
(1)給水管取り出し位置を確認し、止水栓を取り付けます。  
●ぬし部にシールテープ等のシール材を巻き付けてねじ込んでください。  
●袋ナットにパッキン（黒色）が入っていることを必ず確認してから接続してください。  
※パッキンが入っていないと漏水します。  
●パッキンの表面にゴミがついていないか確認してから接続してください。  
※パッキンの表面にゴミがついていると、漏水する恐れがあります。



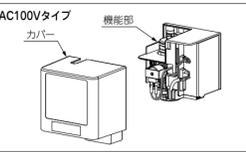
【自動単水栓の場合】  
給水管取り出し位置を確認し、止水栓を取り付けます。  
●ぬし部にシールテープ等のシール材を巻き付けてねじ込んでください。  
●自動水栓の止水栓に付いているキャップは機能部を接続するまで取り外さないでください。  
※キャップ内のOリングが傷つき、漏水の原因になります。



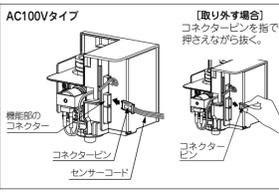
### ハンドル水栓の場合は「8.水栓機能部の取付け」を飛ばして、後述の該当タイプへ進んでください。

### 8.水栓機能部の取付け

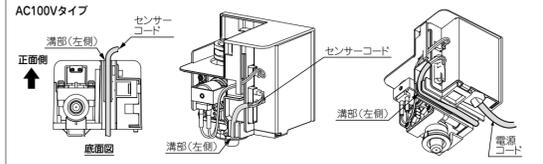
1.コードの接続（AC100Vタイプ、アクエナジータイプ共通）  
(1)機能部から、カバーを取り外してください。



(2)センサーコードのコネクタピンを手前に向けて機能部のコネクタに差し込みます。  
●濡れた手で触れたり、水がかからないよう行ってください。  
※故障の原因になります。

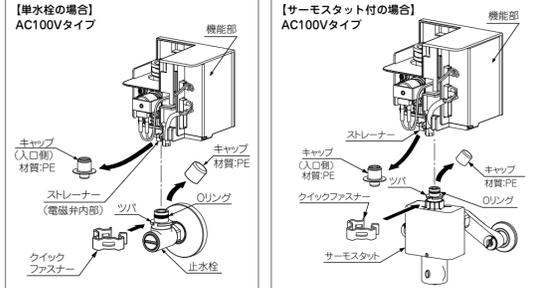


(3)センサーコードを溝部に沿ってはめ込みます。  
●センサーコードを正面からみて左側の溝部にはめ込みます。  
●裏側までしっかりはめ込んでください。  
※センサーコードが溝部にはまっていなくてカバーの取付け時にセンサーコードを挟み込み、センサーコードが断線する恐れがあります。



### 2.機能部の取付け（AC100Vタイプ、アクエナジータイプ共通）

(1)止水栓またはサーモスタットのキャップと機能部の入口側のキャップを取り外し、機能部が正面を向くように止水栓またはサーモスタットのツバと機能部ツバが接するまで差し込みます。  
●Oリングを傷ついたり、ゴミがみえないよう行ってください。  
※漏水の原因になります。  
●誤ってストレーナーを外さないでください。  
※ゴミが電磁弁内に入り、故障の原因になります。

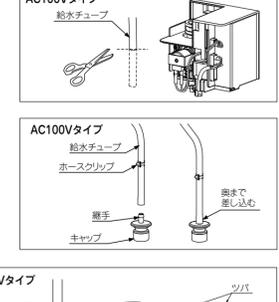


(2)付属のクイックファスナーを接続部（ツバ部）にはめ込みます。  
●確実ににはめ込んでください。  
※しっかりとねじ込んでいないと漏水やクイックファスナーでガガする恐れがあります。  
●機能部を上げて、クイックファスナーが外れないことを確認してください。



### 3.給水チューブの取付け（AC100Vタイプ、アクエナジータイプ共通）

(1)給水チューブが折れ曲がらないように必要な長さを確認し、水平に切断します。  
●給水チューブの取付けには必ず順序を守ってください。  
※漏水の原因になります。  
●必ず給水チューブの必要な長さを確認してください。  
※給水チューブが長すぎると折れ曲がり流量が出なくなる恐れがあります。  
(2)給水チューブを継手から取り外す場合、カッターは使用しないでください。  
※継手を傷つけ、漏水の原因になります。  
(3)プライヤー等を使用し、ホースクリップで固定します。  
※プライヤー等でホースクリップのツバ部分を挟み、ホースネット段段上へ移動させます。

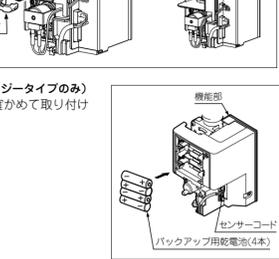


(4)機能部の出口側のキャップ、継手のキャップ、リングを取り外し、機能部の出口に継手を差し込み、リングで固定します。  
●Oリングに傷をついたり、ゴミがみえないよう行ってください。  
※漏水の原因になります。

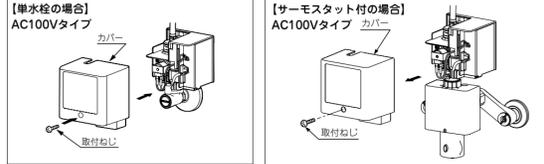


### 4.バックアップ用乾電池の接続（アクエナジータイプのみ）

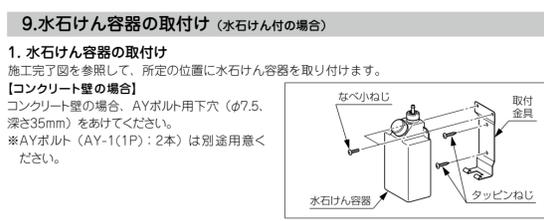
アルカリ乾電池単3形4本を電池の＋表示を確認してから取り付けてください。



5.カバーの取付け（AC100Vタイプ、アクエナジータイプ共通）  
カバーをはめ込み、プラスドライバーで付属の取付ねじを固定します。  
●コードをカバーで挟み込まないでください。  
※コードが断線する恐れがあります。

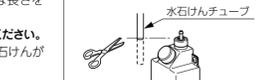


6.電源プラグの接続（AC100Vタイプのみ）  
電源プラグをコンセントに接続します。  
●電源コードは床にたかないように施工してください。  
※清掃時に電源コードを傷つけてしまい、水で濡れた際に感電する恐れがあります。



### 9.水石けん容器の取付け（水石けん付の場合）

1.水石けん容器の取付け  
施工図を参照して、所定の位置に水石けん容器を取り付けます。  
【コンクリート壁の場合】  
コンクリート壁の場合、AYボルト用下穴（φ7.5、深さ35mm）をあけてください。  
※AYボルト（AY-1（P）：2本）は別途用意ください。



### 2.水石けんチューブの接続

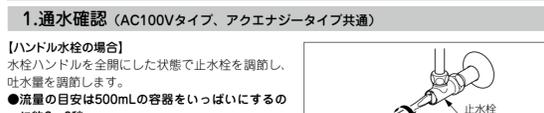
(1)水石けんチューブが折れ曲がらないように必要な長さを確認し、切断します。  
●必ず水石けんチューブの必要な長さを確認してください。  
※水石けんチューブが長すぎると折れ曲がり水石けんが出なくなる恐れがあります。



【ポイント】  
水石けんチューブは水平に切断してください。

### 【ポイント】

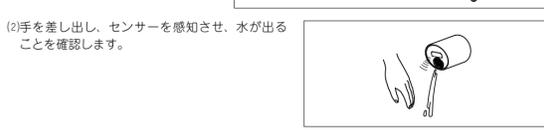
(2)水石けんチューブを接続プレートに差し込み、クリップで固定します。



### ●施工後の調整

#### 1.通水確認（AC100Vタイプ、アクエナジータイプ共通）

【ハンドル水栓の場合】  
水栓ハンドルを完全に止水栓を調節し、吐水量を調節します。  
●流量の目安は500mLの容器をいっぱいにするのに約6～8秒。  
【自動水栓の場合】  
(1)止水栓または湯側・水側の流量調節栓を開きます。



(2)手を差し出し、センサーを感知させ、水が出ることを確認します。

(3)接続部から漏水がないことを確認します。  
【単水栓の場合】  
AC100Vタイプ  
●漏水確認  
【サーモスタット付の場合】  
アクエナジータイプ  
●漏水確認

2.ストレーナーの清掃（AC100Vタイプ、アクエナジータイプ共通）  
初期通水後のゴミを取り除くため、ストレーナーの清掃を以下の要領で行ってください。  
(1)止水栓または湯側・水側の流量調節栓を開きます。



(4)電磁弁の中に取まっているストレーナーを取り出し、ストレーナーのゴミ等洗い流します。  
※清掃時に定流量弁を動かさないようにしてください。  
※水が垂れる場合があるため、止水栓の下にタオルなどを置いてください。

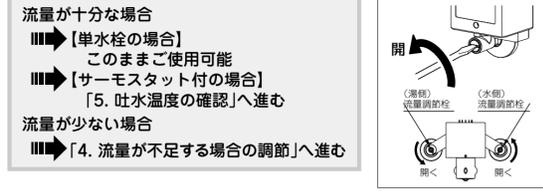


【サーモスタット付の場合】  
(3)マイナスドライバーで流量調節栓外側のストレーナーホルダーを取り外し、ストレーナーのゴミ等洗い流します。  
※水が垂れる場合があるため、流量調節栓の下にタオルなどを置いてください。



#### 3.流量の調節（AC100Vタイプ、アクエナジータイプ共通）

マイナスドライバーで止水栓または流量調節栓を全開にします。  
●節水のため定流量弁を装着しているため、一定以上の流量（3.0L/分以上）は出ません。  
●流量の目安は500mlの容器いっぱいにするのに約10～15秒。



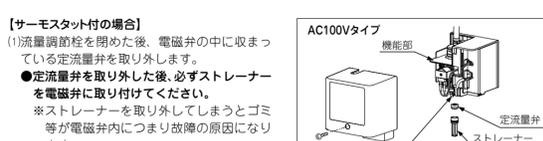
#### 4.流量が不足する場合の調節（AC100Vタイプ、アクエナジータイプ共通）

低圧の現場や電気温水器との組み合わせで流量が不足する場合は、定流量弁を取り外して流量を調節する必要があります。

【単水栓の場合】  
(1)止水栓を開けた後、電磁弁の中に取まっている定流量弁を取り外します。  
●定流量弁を取り外した後、必ずストレーナーを電磁弁に取り付けてください。  
※ストレーナーを取り外してしまうとゴミ等が電磁弁内につき故障の原因になります。  
※水が垂れる場合があるため、止水栓の下にタオルなどを置いてください。



(2)マイナスドライバーで止水栓を回し、流量を調節します。  
●流量の目安は500mlの容器いっぱいにするのに約10～15秒。



【サーモスタット付の場合】  
(1)流量調節栓を開けた後、電磁弁の中に取まっている定流量弁を取り外します。  
●定流量弁を取り外した後、必ずストレーナーを電磁弁に取り付けてください。  
※ストレーナーを取り外してしまうとゴミ等が電磁弁内につき故障の原因になります。  
※水が垂れる場合があるため、サーモスタットの下にタオルなどを置いてください。

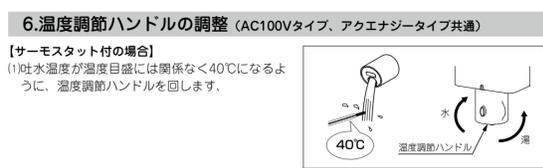


(2)温度調節ハンドルを水側いっぱいまで回し、吐水の状態を確認しながらマイナスドライバーで水側の流量調節栓を調節してください。その後、温度調節ハンドルを湯側いっぱいまで回し、吐水の状態を確認しながら湯側の流量調節栓を調節してください。  
●流量の目安は500mlの容器いっぱいにするのに約10～15秒。

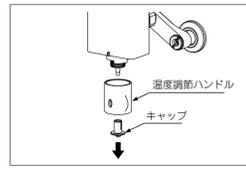
#### 5.吐水温度の確認（AC100Vタイプ、アクエナジータイプ共通）

【サーモスタット付の場合】  
温度調節ハンドルは、工場で調整していますが、使用条件（給水・給湯圧力、給湯温度）が異なると、表示通りの温度が出ることがあります。吐水温度が表示通りになっているか、次の手順で確認してください。温度調節ハンドルの温度目盛「40」を温度表示ガイドに合わせ、吐水口から吐水させます。

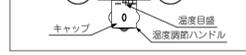
吐水温度が表示通りの場合  
▶▶▶ そのまご使用可能  
吐水温度がズレている場合  
▶▶▶ 「6.温度調節ハンドルの調整」へ進む



(2)吐水温度が40℃になったところで止水し、温度調節ハンドルが回転しないように注意して、キャップ、温度調節ハンドルを抜き取ります。  
●キャップを外すと、温度調節ハンドルは手でひっぱるだけ外れます。



(3)抜き取った温度調節ハンドルの温度目盛「40」が温度表示ガイドに合うように温度調節ハンドルをはめて、キャップをはめ込みます。



### ●引渡前の確認

お客様に引き渡す前に、以下のような現象がないか確認してください。

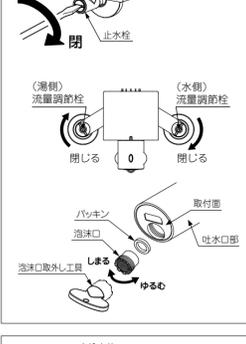
現象	点検内容	処置	参照項目	
吐水しない	止水栓または流量調節栓は開いていませんか？	止水栓または流量調節栓を開く。	流量の調節	
	【AC100Vタイプの場合】 電源プラグはコンセントに差し込まれていませんか？	コンセントに電源プラグを差し込む。	—	
	【AC100Vタイプの場合】 コンセントに電圧がきていない、または停電中ではありませんか？	ブレーカーを確認する。停電中の場合は回復するまでお待ちください。	—	
	【アクエナジータイプの場合】 バックアップ用乾電池が正しくセットされていますか？	バックアップ用乾電池を正しくセットする。（乾電池を取り付けから水が溢れだす30秒から1分以内）	バックアップ用乾電池の交換方法	
流量が少ない	センサーの表面が汚れていませんか？	汚れをふき取る。※1	取扱説明書（P16）	
	ストレーナーや泡沫口がゴミ詰まりしていませんか？	ストレーナーや泡沫口にゴミ詰まりを取り除く。	ストレーナーの掃除、泡沫口の掃除	
	止水栓または流量調節栓を全開にしていませんか？	止水栓または流量調節栓を全開にする。	流量の調節	
	ストレーナーや泡沫口がゴミ詰まりしていませんか？	ストレーナーや泡沫口にゴミ詰まりを取り除く。	ストレーナーの掃除、泡沫口の掃除	
流量が多い	止水栓または流量調節栓を全開にしていませんか？	止水栓または流量調節栓を全開にする。	流量の調節	
	ストレーナーや泡沫口がゴミ詰まりしていませんか？	ストレーナーや泡沫口にゴミ詰まりを取り除く。	ストレーナーの掃除、泡沫口の掃除	
	給水チューブが折れ曲がっていませんか？	折れ曲がらないよう長さを調節する。	—	
	ストレーナー内の定流量弁が取り外されていませんか？	定流量弁を取り付ける。	流量の調節	
吐水が多い（勝手に吐水する）	低圧の現場の場合、定流量弁を取り外した後、流量を調節しましたか？	流量を調節する。	流量の調節	
	センサーの前に障害物はありませんか？	障害物を取り除く。	—	
	センサーの表面が汚れていませんか？	汚れをふき取る。※1	取扱説明書（P16）	
	泡沫口にゴミ詰まりしていませんか？	泡沫口をしっかりと掃除する。	泡沫口の掃除	
吐水口からボタボタ水が落ちる	施工時に配管内のゴミを流しましたか？	ストレーナーの掃除を行う。また定流量弁を外し、大流量で吐水を行い、水栓内の細かいゴミを流す。	ストレーナーの掃除、泡沫口の掃除	
	高圧しが出ない	【サーモスタット付の場合】 水側の流量調節栓は十分開いていますか？	流量調節栓を全開にする。	流量の調節
	低圧しが出ない	【サーモスタット付の場合】 湯側の流量調節栓は十分開いていますか？	湯側の流量調節栓を全開にする。	流量の調節
	温度調節がきかない	【サーモスタット付の場合】 温度調節ハンドルの設定は適正ですか？	温度調節ハンドルの調整をする。	温度調節ハンドルの調整の仕方
水石けん付	吐水しない（勝手に吐水しない）	止水栓の開度を調節する。	止水栓の調節	
	水石けんがなくなっていますか？	水石けんを補充する。	取扱説明書（P12）	
	指定水石けん以外の水石けんを使用していますか？	指定の水石けんを使用する。	取扱説明書（P12）	
	原液の水石けんを使っていますか？	推奨希釈比率を使用する。	取扱説明書（P12）	
水石けんを薄めすぎませんか？	推奨希釈比率を使用する。	取扱説明書（P12）		
異物が混入した水で水石けんを希釈していますか？	異物が混入していない水で希釈する。	取扱説明書（P12）		
水石けん容器内に異物が混入していませんか？	容器内を水洗いして、新しい水石けんを補充する。	取扱説明書（P12）		
稀釈に使用するセンサー等の有機溶剤、洗剤の空き容器などを使用していますか？	市販の給湯容器やペットボトルなどのきれいな容器を使用する。	取扱説明書（P12）		
水石けん容器に水石けんの原液を先に入れ、後から水を加えていますか？	あらかじめ希釈した水石けんを補充する。	取扱説明書（P12）		
ストレーナーや泡沫口がゴミ詰まりしていませんか？	水石けんを洗い流して、ストレーナーの汚れを取り除く。	取扱説明書（P12）		
ストレーナーの汚れはありますか？	交換する。	—		

※1：センサーの表面の汚れをふき取る場合、キズをつけないようにしてください。

#### 【泡沫口の掃除】

●自動水栓の場合  
流量が少なかったり、水の出が乱れてきてストレーナーの掃除をしても解消されない場合は、泡沫口のゴミまわりが考えられます。

次の手順で掃除をしてください。  
(1)止水栓または湯側・水側の流量調節栓を時計回り（し）に回します。  
(2)センサーに手をかざして水を出し、水が止まったことを確認します。  
(3)排水口の中に部品を落とすおそれがあるため、排水口の上のタオルなどを置いてください。  
(4)付属の取外工具で泡沫口を矢印の方向に回して取り出し、ゴミなどを洗い流してください。  
※泡沫口のツバを傷つけないよう注意してください。  
(5)取外工具で泡沫口を時計回りに止まるまで回し、取り付けます。  
(6)止水栓または湯側・水側の流量調節栓を反時計回りに回します。  
センサーに手をかざして水が出ることを確認してください。  
●パッキンはよじれないように泡沫口の中に入れて、取付面と平行に吐水口に取付けてください。  
※掃除した後は泡沫口をしっかり締めてください。  
※吐水時に必ず水漏れの確認を行ってください。



●ハンドル水栓の場合  
吐水口にゴミ等が詰まると吐水量が少なくなります。スナナ等の工具でケースをゆるめ、泡沫ユニットを取り外し、掃除してください。  
※排水口に部品を落とすおそれがあるため、泡沫口を取り外す前に排水口を洗面器やタオルで覆ってください。



#### 【完了後の処理（必ず実施してください。）】

不要部材を処分する場合は、必ず許可の受けを受けている業者に依頼してください。  
取外工具は、取扱説明書と一緒にお客様に必ず返してください。